

医療ISACの新体制・方針



2025/4

今後の医療ISACの活動方針

以下2つの大方針のもと、医療ISACは今後活動を実施する

1

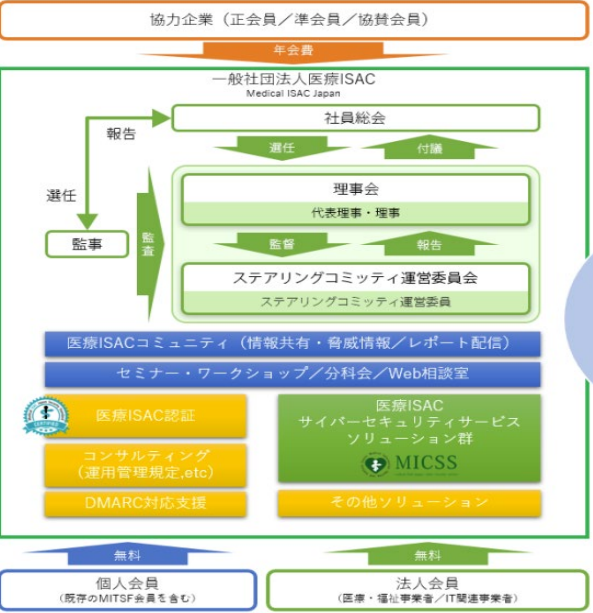
国内の医療機関等が直面するセキュリティ面の構造的な課題・問題を適切に捉え、その解決に向けた調査研究・情報提供、改善提言、またはそうした解決に寄与する対策の企画・設計、実証試験等の活動を通して、**国内の医療セキュリティの向上・発展により貢献**すること

2

一般社団法人としての**適切なガバナンス**のもと、組織面・財務面において継続的かつ安定的な経営・活動を**会員とともに**行っていく

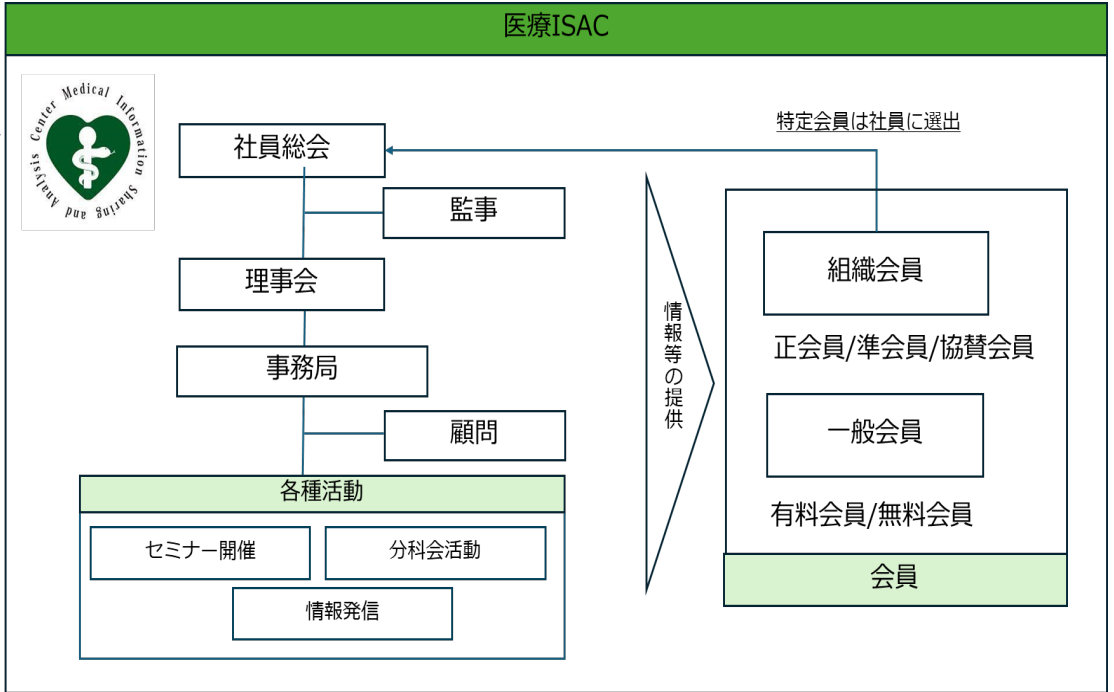
今後の組織体制

■ 現体制



■ 新体制

米国Health-ISAC



概要

- ・ 設立時社員/特定会員を中心とした社員総会を頂点に、医療ISACの活動を理事会、及び事務局が担う体制とすることを明確化。
- ・ 組織会員のうち、所定の手続きに基づき承認された正会員は、特定会員として、一般社団法が定める社員として、総会メンバーとなる
- ・ 一般会員は、有料会員と無料会員の2区分へと見直し

今後の役職員

■役員

役職	氏名	
代表理事	小森 直之	一般社団法人日本医療法人協会 副会長、医療法人恵仁会なぎ辻病院 理事長
副代表理事	宮田 俊男	医療法人社団DEN理事長、早稲田大学理工学術院先端生命医科学センター教授
理事	大河内 二郎	公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事、介護老人保健施設竜間之郷 施設長
監事	渡邊 仁	公認会計士

■事務局

役職	氏名	備考
事務局長	江原悠介	医療ISAC共同創立者
事務局員	佐藤康雄	-

■顧問

氏名	
山崎 文明	情報安全保障研究所 主席研究員
舟橋 信	株式会社FRONTEO取締役、株式会社セキュリティ工学研究所取締役 元警察庁技術審議官
中尾 康二	情報通信研究機構（NICT）主管研究員、ICT-ISAC顧問

概要

- ・ **小森代表理事、宮田副代表理事、大河内理事による理事会とともに、渡邊監事による役員体制。**
- ・ 理事会の意思決定のもと、**事務局**が組織の実務的な活動を支援。
- ・ 現行のSC運営委員は**事務局付けの顧問**となる。

各会員の定義

■ 現体制

会員種別	活動内容
法人会員	医療ISACが提供するサービス（無償・有償）を受けることができる医療・福祉事業者 （2022年4月改定）
個人会員	医療等従事者 医療・福祉の従事者で、個人的に医療ISACコミュニティに参加する会員
	サポーター 医療情報を取り扱う情報システム・サービス事業者等に所属し、個人的に医療ISACコミュニティに参加する会員
協力企業正会員	セミナー・ワークショップ/分科会を開催（企画等）する権利を有し、医療ISACの運営に積極的に参画していただく企業様
協力企業準会員	セミナー・ワークショップ/分科会を開催する権利は有さないが、医療ISACの運営に積極的に参画していただく企業様
協力企業協賛会員	資金面での支援をお考えの企業様

■ 新体制

会員区分	会員種別	会員の定義
組織会員	特定会員	正会員の権利に加え、本団体の経営・活動に責任を持ち、本団体とともに国内医療機関向けのセキュリティ向上に貢献する意思を持つ法人組織
	正会員	セミナーの開催・提案・参加を行う権利を有する法人組織
	準会員	セミナーの提案・参加を行う権利を有する法人組織
	協賛会員	セミナーに参加する権利を有する法人組織
一般会員	有料会員	本団体が一般会員向けに提供するサービスをすべて利用できる個人
	無料会員	本団体が一般会員向けに提供するサービスを一部利用できる個人

概要

- 組織会員（法人組織）と一般会員（個人）に会員区分を再編。
- 組織会員のうち、**医療ISACの活動に積極関与し、国内医療セキュリティの向上に貢献する意思を持つ会員として、特定会員**を新設。
- 一般会員の種別は**有料と無料**に再編。なお、**新体制後も、現在の法人会員のみは一般会員として扱う**
- 会員向けの個別具体的な有償サービスは、内容を事務局で検討したうえで、対応可否を決定

組織会員について～会員別権利

会員種別	社員 該否	会員権利種別				
		セミナー			分科会	
		主催	提案	参加	主催	参加
特定会員	○	○	○	○	○	○
正会員	-	○	○	○	-	○
準会員	-	-	○	○	-	○
協賛会員	-	-	-	○	-	○

概要

- 組織会員の権利は、①：オンライン型/ハイブリット型（オン/オフ共存）セミナーに関する「主催」「開催の提案」「参加」、②：分科会の「主催」「参加」となる
- 特定会員は、一般社団法上の「社員」として、医療ISACの活動・運営に対する議決権を有することになる
- 全ての組織会員は、一般会員における有料会員向けサービスを利用する権利も有する

組織会員について～セミナー・分科会の位置づけ

①：セミナー

セミナーは主に以下を想定。

＜従前から継続するもの＞

- ・ オンラインセキュリティレクチャー（配信型セミナー） ※月次開催想定
- ・ H-ISAC Council等、オンライン・オフラインハイブリット型セミナー ※年次開催想定

＜新体制で追加されるもの＞ ※都度開催想定

- ・ 分科会の活動報告セミナー(オンライン/オフライン)
- ・ 医療ISAC事務局として会員向けに開催すべきと判断する内容に関するセミナー(オンライン)

②：分科会

- ・ 特定会員が主催する権利を持つ活動体
- ・ 公益性の高い国内医療セキュリティの制度的・構造的な課題の解決に向けた対応策を、組織会員・一般会員の参画、及び医療ISACの監修のもと、共同で設計・協議、実証実験等を行い、必要に応じて、その活動成果を会員にとどまらず、対外的に公表・提言していくことを主目的とする。
- ・ テーマによっては、医療関係団体や外部のセキュリティ組織等による協力・参画のもとで実施することも想定
- ・ 分科会運営は、主催会員を中心に、医療ISAC事務局支援のもとで実施。
- ・ 活動実績は医療ISACのサイトで一般公開される

一般会員について～利用可能なサービス内容

#	サービス内容	一般会員	
		有料	無料
1	医療ISACによるセキュリティ調査・分析レポート、情報発信・注意喚起等の情報公開	○	○
2	デイリーレポート（H-ISAC Daily Cyber Headlines）	○	○
3	H-ISACによる脅威速報、脆弱性速報 ※Google Chatで現在実施している内容	○	-
4	H-ISACによるセキュリティアドバイザリやホワイトペーパー ※Google Chatで現在実施している内容	○	-
5 ★	医療ISAC Analysis Report （H-ISACからの共有内容を国内医療セキュリティの観点で分析したレポート、直近のトピックに関する独自レポート）	○	-
6	オンライン型セミナー（医療ISAC Security Lecture等）への参加	○	△(※1)
7	オンライン/オフラインハイブリット型セミナー（H-ISAC Council等）への参加	○	△(※1)
8	Web相談室（オンライン会議による個別相談）の利用（年1回/1時間程度）	○	-
9 ★	特定会員が主催する分科会活動への参加	○	△(※2)
10	国内医療機関のセキュリティインシデント等をまとめたレポート（国内医療セクター Security Incidents）	○	○

※1：テーマ・内容等を検討し、事務局が公開範囲を拡大すべきとしたものは無料会員も参加可。それ以外は参加費用が必要

※2：分科会開催主体の許可がある場合は無料会員も参加可。

概要

- 現在の法人会員/個人会員に該当する【一般会員】向けのサービスは、有料会員と無料会員で利用できるサービスの範囲を変更。
- 有料会員向けには新規サービス（★）を一部追加

一般会員について～有料会員向けサイトの情報・レポート掲載

有料会員サイトでの掲載情報の種類	メール配信有無	掲載頻度	会員サイト上での保管期間
①デイリーレポート（H-ISAC Daily Cyber Headlines）	あり	日次	1 4 日
②H-ISACによる脅威速報、脆弱性速報	なし	都度	1 か月分
③H-ISACによるセキュリティアドバイザリやホワイトペーパー	なし	都度	1 か月分
④医療ISAC Analysis Report	なし	不定期 （主に隔月）	1 年分
⑤国内医療セクター Security Incidentsレポート	あり	月次	3 か月分

- 一般有料会員がログインできる会員サイトを新設。当該サイト上で各種情報・レポートを公開する。
- Google Chatで共有していたH-ISACからの脅威速報等（②）、セキュリティアドバイザリー等（③）は「H-ISAC Security Intelligence Report」として会員サイトへ移行。
- デイリーレポート（①）、国内医療セクター Security Incidentsレポート（⑤）はメール配信とともに、会員サイトにも掲載。
- ①～③の内容を国内医療セキュリティの観点で分析したレポート、直近のトピックに沿ったレポート等、「医療ISAC Analysis Report」（④）を不定期に会員サイトに掲載し、情報発信を行う

会員費用

■ 組織会員

会員種別	入会費(税抜)	年会費 (税抜)
正会員 / 特定会員	¥300,000	¥1,200,000
準会員	¥300,000	¥300,000
協賛会員	無料	¥100,000

■ 一般会員

会員種別	入会費(税抜)	年会費 (税抜)
有料会員	¥1,000	¥5,000
無料会員	無料	無料

- ・ 組織会員の入会費・年会費は従前同様
- ・ 組織会員は、すでに会員として加盟している期間において、上位会員種別への切替を行う場合、入会費の必要なく、年会費も一定の減額措置（月按分で計算）のもとで移行可能とする（例えば、準会員で半年経過後、正会員へ切替を行う場合、それまでの既払年会費（15万分）を減額したうえで、正会員の年会費（＝105万）を算出。ただし下位会員種別への期間中の切替はNG）
- ・ 一般会員のうち、有料会員は入会費：¥1000、年会費：¥5000。ただし現在すでに無料会員登録している場合、入会費は免除。

EOF